

【平成29年度茨城県支部総会開催結果】

平成29年10月1日(日)13時30分から、水戸市「ホテルレイクビュー水戸」において、校友会から外園^{小田}の副会長、大学からは夏秋啓子副学長(国際農業開発学科教授)を来賓にお招きし、昭和29年卒業から平成27年卒業までの幅広い年代の会員90名が出席して盛大に開催しました。

(講演会)

総会に先立ち、農業生産法人うしおだ(株)代表取締役の潮田武彦氏(H12 農学科卒)による「小さな農家がクールジャパンに選ばれた! 農業の6次産業とITによるブランド化—Only One 戦略—」と題して講演をいただいた。講演の概要は、「就農後の苦労と現在の経営内容」、「クールジャパンに選ばれた理由として、失敗から一念発起し面積を2haから30aに徐々に減らしながら高品質のにんじんをつくることに心がけたこと、本物を追求したことが結果的に世間に求められたこと」、「6次産業で成功するには企業ができないことをする、オンリーワンの商品づくりが重要」、「一次産業からの変革が地方創生にもつながる、これには土台のしっかりした新しい価値を創出することが大切である」、「オンリーワン戦略は今ある技術の追求と組み合わせ・デザインすることで新しい価値を創出し、世界で唯一の物をつくること」、「現在はインターネットを通じて世界が繋がっているので、95%はネットを通じての販売」、「イベントを行うと口コミで個人と個人が繋がる。個人と個人の濃い繋がりのあるファンを作ることが一番大切」などと話されて、最後に「一次産業の変革が求められる時代であり、東京農大出身者の時代でもある。社会を変革する創造的な可能性に挑戦しましょう」と呼び掛けました。素晴らしい講演内容に質問が続出するなど大好評を

（総会）

総会は、高野三郎副支部長（S43 院化修）の開会の言葉、松本正宏支部長（S42 経済）から 3,300 余名の支部会員が各界で活躍していること、校友の情報交換を密にすること、大学の発展に寄与することなどの挨拶がありました。来賓紹介（校友会、大学、顧問である村上典男（S57 拓殖）・外塚 潔（S58 造園）・水垣一俊（S54 工学）の3県議）と主催者紹介の後、校友会外園副会長から大学発展のための協力依頼、地域後継者推薦の状況、125 周年募金活動への御礼などを交えた校友会活動状況があり、夏秋副学長からは受験者が過去最高の数だったこと、就職率は 95%と堅調、産学連携・地域連携が進んでいること、主な行事と部活動の状況など、大学の近況等の報告を兼ねた挨拶がありました。

その後、松本支部長が議長となって議事に入り親子三世代卒業生表彰で石井隆之氏（S57 醸造）親子が特別表彰を受けたことなどの活動状況、会計報告について原案どおり承認されました。校友の慶事について、H28 秋の叙勲に菊池 侃氏（S44 栄養）が旭日双光章を授与されたこと、今年 9 月 10 日の行方市長選で鈴木周也氏（H6 産食）が再選されたことが報告されました。その他として平成 29 年度の支部活動の主な動きと今後の予定、依頼事項の説明があり、外ノ岡政典副支部長（S52 農学）の閉会の言葉で総会を終了しました。

（懇親会）

会場を移しての懇親会では、開会の言葉を新堀正睦副支部長（S42 経済）、乾杯を酒井幸広氏（S 短農）が行い、その後、新旧校友が年齢に関係なく和やかに懇談、相

互の親睦を深めることが出来ました。宴もたけなわになったころ、天野政幸氏（S42 短農）と倉岡 裕氏（S51 拓殖）の2人から詩吟の披露があり、大いに喝さいを受けました。灰原 秀氏（H27 生環工）の音頭で学歌、青山ほとりを高らかに歌い、踊り大いに盛り上がりました。

最後は、長岡健蔵副支部長の閉会宣言で、来年の土浦市会場での再会を期して散会しました。

写真説明

写真1；全員で記念撮影

2；講師の潮田武彦氏

3；左から来賓の校友会外園副会長、大学夏秋副学長、顧問の戸塚県議

4；左から顧問の村上、水垣県議

5；右から松本支部長、高野、新堀、外ノ岡、長岡の各副支部長

6；再選された鈴木周也行方市長

7・8・9・10；懇親会の様子

11；学歌斉唱

写真1



写真2



写真3



2 月 6



2 月 7



2 月 4



2 月 5





24 8



24 0



24 9



24 1